

2021 年度事業計画概要

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

新材料及びこれに関連する科学技術分野における助成事業（**公益事業 1**）及び科学技術啓蒙事業（**公益事業 2**）を実施する。

公益事業 1

1. 研究助成

1-1. 研究助成

新材料及びこれに関連する科学技術分野で、新規材料開発の基礎並びに応用を指向する独創性の高い研究を対象とし、大学等に常勤する 45 才未満の研究者に対して研究助成を行う。

(1) 2022 年度（第 34 回）研究助成の実施

2022 年 3 月の第 77 回（公益認定後第 30 回）理事会で承認・決定した 12 名に助成金を贈呈する。助成額は 1 件あたり 2,000 千円、総額 24,000 千円。

(2) 第 25 回研究成果報告会

2021 年度研究助成金受領者による研究成果報告会を、2022 年 12 月 1～2 日に（株）トクヤマ・徳山製造所において開催する。

(3) 2023 年度（第 35 回）研究助成の公募

公募期間は 2022 年 8 月 1 日から 9 月 22 日。選考委員による書類審査を経て、12 月 1 日の選考委員会において候補者を選出する。

1-2. スタートアップ助成

上記 1-1. 研究助成の対象者のうち、学位取得後 10 年以内及び現在のポジションに就いて 3 年以内の研究者に対して研究助成を行う。

(1) 2022 年度（第 2 回）スタートアップ助成の実施

2022 年 3 月の第 77 回（公益認定後第 30 回）理事会で承認・決定した 12 名に助成金を贈呈する。助成額は 1 件あたり 1,000 千円、総額 12,000 千円。

(2) 2022 年度（第 2 回）スタートアップ助成の公募

公募期間は 2022 年 8 月 1 日から 9 月 22 日。選考委員による書類審査を経て、12 月 1 日の選考委員会において候補者を選出する。

1-3. 発展研究助成

上記 1-1. 研究助成の直近の助成修了者を対象とし、当該研究助成の発展・展開が期待される研究者に対して研究助成を行う。

(1) 2022 年度（第 3 回）発展研究助成の実施

2022 年 3 月の第 77 回理事会（公益認定後第 30 回）で承認・決定した 2 名に助成金を贈呈する。助成額は 1 件 5,000 千円、総額 10,000 千円。

(2) 2023 年度（第 4 回）発展研究助成の選考

2021 年度研究助成の終了者（12 名）が対象。2022 年 12 月 1 日の選考委員会において候補者を選出し、2023 年 3 月の理事会で承認・決定する。

2. 国際交流助成

海外で開催される、新材料及びこれに関連する科学技術分野における国際会議への参加に対して費用の一部を助成する。

(1) 2022 年度（第 35 回）国際交流助成の実施

選考委員による審査選考にて選出し、2022 年 5 月の第 78 回理事会（公益認定後第 31 回）で承認・決定する 7 名に助成金を贈呈する。助成額は最高 250 千円、総額 1,700 千円。

(2) 2023 年度（第 36 回）国際交流助成の公募

公募期間は 2023 年 2 月 1 日から 3 月 22 日。選考委員による書類審査を経て候補者を選出する。

3. 国際シンポジウム助成

国内で開催される、新材料及びこれに関連する科学技術分野における国際シンポジウムに対して費用の一部を助成する。

(1) 2022 年度（第 33 回）国際シンポジウム助成の実施

2022 年 3 月の第 77 回（公益認定後第 30 回）理事会で承認・決定した 9 件について、助成金を贈呈する。助成額は 1 件 300 千円、総額 2,700 千円。

(2) 2022 年度（第 33 回）国際シンポジウム助成の公募

公募期間は 2022 年 8 月 1 日から 9 月 22 日。選考委員による書類審査を経て、12 月 1 日の選考委員会において候補を選出する。

公益事業 2

科学技術啓蒙助成

将来を担う世代を対象とした科学技術の普及啓発事業に対して助成する。

(1) おもしろワクワク化学の世界展

青少年を対象に日本化学会中国四国支部が主催する演示実験会「おもしろワクワク化学の世界展」に対して助成する。助成額は 2,000 千円。

(2) 少年少女発明クラブ

(一社) 山口県発明協会等が支援する少年少女発明クラブに対して助成する。助成額は 1 クラブ 50 千円、7 クラブ、総額 350 千円。

2022 年度（第 34 回） 研究助成

（12 件、総額 24,000 千円）

（五十音順）

No	氏名	年齢	職位	所属（申請時）	研究題目	助成額 （千円）
1	石川理史	33	特別助教	神奈川大学 工学部 物質生命化学学科	多元系結晶性複合酸化物触媒の開発と触媒機能調査	2,000
2	石田直樹	41	准教授	京都大学 大学院工学研究科 合成・生物化学専攻	光エネルギーを活用する脱水素カップリング反応の研究	2,000
3	小林亮	39	准教授	名古屋大学 未来材料・システム研究所 材料創製部門	鉛・希土類フリー高誘電・強誘電ナノ材料の開発を志向した酸化チタンナノシートの開発	2,000
4	高津浩	39	講師	京都大学 工学研究科 附属工学基盤教育研究センター	応力下の低温トポケミカル反応を用いた酸素空孔配列の制御と革新機能の創出	2,000
5	田代省平	43	准教授	東京大学 大学院理学系研究科 化学専攻	金属有機クラスターをノードとした非対称配位高分子の精密設計	2,000
6	田中裕也	39	助教	東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命化学研究所	酸化還元刺激に応答する有機金属単分子スイッチの開発	2,000
7	田原一邦	44	専任教授	明治大学 理工学部 応用化学科	芳香族性・反芳香族性のチューニングによる有機半導体の開発と材料化学への展開	2,000
8	中川慎太郎	33	助教	東京大学 生産技術研究所 物質・環境系部門	オレフィンメタセシスによる結合トポロジ変換機構を有する高強度・易成形性架橋高分子の創製	2,000
9	星野哲久	44	助教	東北大学 多元物質科学研究所	分子性量子磁石の電氣的センシングによる超高密度メモリーデバイスの研究	2,000
10	山門陵平	35	助教	山形大学 大学院有機材料システム研究科 有機材料システム専攻	イオンペア添加がトリガーとなるオンデマンド型材料の開発	2,000
11	山田道夫	40	准教授	東京学芸大学 教育学部 自然科学系・分子科学分野	光電変換材料を指向した剛直なフラレン誘導体の創製と配列制御	2,000
12	吉田優	40	准教授	東京理科大学 先進工学部 生命システム工学科	高度に縮環したフェノチアジン類の新しい合成法の開発	2,000

2022年度（第2回）スタートアップ助成

（12件、総額12,000千円）

（五十音順）

No	氏名	年齢	職位	所属（申請時）	研究題目	助成額 （千円）
1	大曲仁美	31	助教	青山学院大学 理工学部 化学・生命科学科	有機分子と希土類イオンの二重発光の相対強度変調を指向した多様な分子内エネルギー移動経路を有する分子の開発	1,000
2	織田耕彦	29	助教	東京工業大学 物質理工学院 応用化学系	水/超臨界CO ₂ 系の逆ミセルによる水放出挙動制御に基づいた有機-無機ハイブリッドナノ結晶の革新的ドライ合成への挑戦	1,000
3	川谷諒	29	特任助教	信州大学 繊維学部 -	並進二重重合による高強度ハイドロゲルの開発	1,000
4	北山雄己哉	36	特別助教	大阪府立大学 大学院工学研究科 物質化学専攻 応用化学分野	微粒子界面光反応を利用したヤヌス状高分子カプセル創出法の確立	1,000
5	佐古真	32	助教	大阪大学 薬学研究科 創成薬学専攻	ピナフチル構造を軸とする新規キラル分子の創成と機能性材料としての応用	1,000
6	鈴木肇	31	助教	京都大学 大学院工学研究科 物質エネルギー化学専攻	複雑な積層構造を有する新規酸ハロゲン化物光触媒の開発	1,000
7	関根康平	33	助教	九州大学 先端物質化学研究所 物質基盤化学部門	ペンタレン類を起点とするn拡張分子の創製	1,000
8	曾川洋光	37	准教授	関西大学 化学生命工学部 化学・物質工学科	結合形成と分解を連続的に制御したバイオマス高分子の設計と創出	1,000
9	田中正樹	32	助教	東京農工大学 大学院工学研究科 生命工学専攻	強分極膜を自発形成する極性分子の配向メカニズム	1,000
10	張 文鋭	32	特任助教	東京工業大学 理学院 化学系	新構造型酸化物イオン伝導体の創製と伝導メカニズムの解明	1,000
11	保坂知宙	28	助教	東京理科大学 研究推進機構 総合研究院	カリウムイオン電池の急速充放電および長期安定作動を実現する非化学量論組成ブルシアンプルー類似体材料の創製	1,000
12	松原正樹	36	講師	東北大学 多元物質科学研究所 無機材料研究部門	熱応答性配位子による銅ナノプリント基板の低温作製	1,000

2022年度（第3回） 発展研究助成

（2件、総額 10,000 千円）

（五十音順）

No	氏名	年齢	職位	所属（申請時）	研究題目	助成額 （千円）
1	貞清正彰	37	講師	東京理科大学 理学部第一部 応用化学科	ゲスト誘起イオン伝導現象を利用した新規超 マグネシウムイオン伝導材料の開発	5,000
2	山本孟	32	助教	東北大学 多元物質科学研究 所 構造材料物性研究分野	遷移金属酸化物の化学結合操作による新しい 物性・機能の創成	5,000

2022年度（第35回）国際交流助成

（7件、総額 1,700 千円）

（五十音順）

No	氏名	年齢	職位	所属（申請時）	会議名（機関・場所）	研究題目	助成額 (千円)
1	アフタリア ジェシカ・ポ ウリン・カス ティリオ	38	助教	筑波大学 数理物質 系	第47回赤外線・ミリ波・テラヘルツ 波国際会議 (IRMMW-THz 2022)(2022/08/28- 2022/09/02)、デルフト[オランダ]	MoSe2およびWSe2において観測 された層間フォノンのテラヘルツ 波発光分光	250
2	石川 功	30	助教	鳥取大学 工学部	第7回世界トライボロジー会議 (WTC2022) (2022/07/10- 2022/07/15)、リヨン[フランス]	a-C:H膜上に吸着する水分子が摩 擦特性に及ぼす影響	250
3	大崎 修司	32	助教	大阪府立大学 大学 院工学研究科	第8回MOFに関する国際会議 (MOF2022) (2022/09/04- 2022/09/07)、ドレスデン[ドイツ]	柔軟性金属有機構造体の凝集体構 造制御とその吸着特性評価	250
4	高村 紀充	36	助教	福岡大学 工学部	第4回誘電体に関する国際会議 (ICD2022) (2022/07/03- 2022/07/07)、パレルモ[イタリア]	窒素ファインバブルの生成時間が 異なるパームヤシ脂肪酸エステル の比誘電率と誘電正接	250
5	徳留 靖明	40	准教授	大阪府立大学 工学 研究科	第17回国際粘土学会(2022/07/25- 2022/07/29)、イスタンブール[トル コ]	層状複水酸化物：最先端2次元材料 の合成とそのエネルギー、環境、 バイオ分野への応用	200
6	平田 祐樹	35	助教	東京工業大学 科学 技術創成研究院	第32回国際ダイヤモンド・炭素材料 会議(2022/09/04-2022/09/08)、 リスボン[ポルトガル]	FCVA法およびCVD法により作製 した3次元ta-C膜の特性比較	250
7	山下 健一	41	講師	大阪大学 大学院理 学研究科	第12回国際ポルフィリン・フタロシ アニン学会 (ICPP-12) (2022/07/10-2022/07/15)、マド リード[スペイン]	構造が明確なポリアニリン様アミ ノポルフィリン多量体のレドック ススイッチング	250

2022年度（第33回）国際シンポジウム助成

（9件、総額2,700千円）

（開催日順）

No.	会議名称	開催期間・場所	主催団体名	組織/実行委員長	参加者（人）			助成額 （千円）
					国内	海外	合計	
1	第11回微粒子磁性国際会議	2022/05/30-06/03 横浜シンポジア	第11回部粒子磁性国際会議 組織委員会	議長 横浜国立大学 教授 一柳優子	30	120	150	300
2	第10回太平洋ラジカル化学シンポジウム	2022/06/05-06/10 京都大学宇治キャンパス 宇治黄檗プラザ	第10回太平洋ラジカル化学シンポジウム	議長・組織委員長 京都大学 教授 山子茂	60	60	120	300
3	第27回光エレクトロニクス・光通信国際会議/国際会議フォトニクスをベースとするスイッチングとコンピューティング2022	2022/07/03-07/07 富山国際会議場	OECC/PSC 2022 運営委員会	OECC2020 運営委員長 日本電信電話株式会社 未来ねっと研究所 上席特別研究員 宮本裕	300	200	500	300
4	第9回東京国際触媒学会	2022/07/24-07/29 福岡国際会議場	触媒学会	実行委員長 九州大学 教授 石原達己	450	200	650	300
5	京都大学エネルギー理工学研究所 第13回国際シンポジウム	2022/09/06-09/08 京都大学 宇治キャンパス	京都大学エネルギー理工学研究所	シンポジウム実行委員長 京都大学 教授 野平俊之	270	30	300	300
6	桐蔭医用工学国際シンポジウム 2022	2022/11/11-11/12 桐蔭横浜大学 中央棟	桐蔭横浜大学大学院工学研究科	運営委員長 桐蔭横浜大学 教授 西村裕之	280	10	290	300
7	第33回太陽光発電国際会議	2022/11/13-11/18 名古屋国際会議場	第33回太陽光発電国際会議組織委員会	組織委員会委員長 名古屋大学 教授 宇佐美徳隆	700	300	1000	300
8	第15回国際有機化学京都会議	2022/11/14-11/17 リーガロイヤルホテル 京都	一般社団法人近畿化学協会 第15回国際有機化学京都会議組織委員会	組織委員長 京都大学 教授 杉野目道紀	600	150	750	300
9	第10回アジア生物無機化学国際会議	2022/11/28-12/03 神戸国際会議場他	アジア生物無機化学協会	実行委員長 大阪大学 教授 伊東忍	200	200	400	300

2022 年度 科学技術啓蒙助成

事業名称	おもしろワクワク化学の世界 '22 愛媛化学展
助成額	2,000 千円
主催	公益社団法人 日本化学会中国四国支部
共催	公益財団法人 徳山科学技術振興財団、高松市教育委員会
後援	愛媛大学、NHK 松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛新聞
大会委員長	大下浄治（広島大学大学院 教授、2022 年度日本化学会中国四国支部長）
実行委員長	林実（愛媛大学大学院 教授）
実行委員	愛媛大学（大学院理工学研究科）
開催期間	2022 年 8 月 11 日（木）～12 日（金）2 日間
場所	松山市総合コミュニティセンター企画展示ホール 1 階
展示ブース	実験ブース数 約 20 程度
参加対象者	幼児、小学校児童、中学校生徒およびその保護者、一般
事業概要	化学に関するデモンストレーション（演示実験）、体験実験を通して、21 世紀を担う青少年に、化学や化学技術の重要性、面白さや不思議さを伝えることにより、夢を与えることを目的とする。本化学展により、青少年の素朴な疑問や好奇心を感動につなげる機会を提供するとともに、参加者の化学や化学技術に対する認識も刷新したい。

事業名称	少年少女発明クラブ
助成額	1 クラブ 50 千円（7 クラブ合計 350 千円）
主催	（一社）山口県発明協会、山口県内市町村教育委員会
共催	山口県内市町村、同公共施設、同商工会議所 他
運営組織	各クラブの企画運営委員会
活動期間	2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日（1 年間）
場所	山口県内公共施設
参加対象者	小中学生及びその保護者
事業概要	本クラブは、現在全国に 214 のクラブがあり、約 11,000 名の子どもたちが、約 2,800 名の指導員のもと科学的な原理に基づく工作実習、創作活動等の体験学習を行っている。山口県では現在 7 クラブ（下関市、山口市、宇部市、防府市、周南市、柳井市、田布施町）が活動している。本活動は、子どもたちに地域の特徴を生かした創意工夫に基づく創作活動の場を提供し、作品製作や実験を通じて、アイデアを形にする能力と技術を持った創造性豊かな人間形成に寄与することを目的として活動し、有意義な成果が得られている。